

タマネギ・レタス栽培の省力機械化技術

研究課題名 タマネギ及びレタス栽培の省力機械化システム実用化（平成 26 年～28 年度）

[研究のねらい]

- ・本研究所で開発した生食用タマネギ栽培での育苗，移植，収穫の省力機械化システムとレタス収穫作業の省力・機械化システムについて、現地での栽培実証と実用化を図る。

[研究の成果]

1. タマネギ底面給水育苗技術を開発



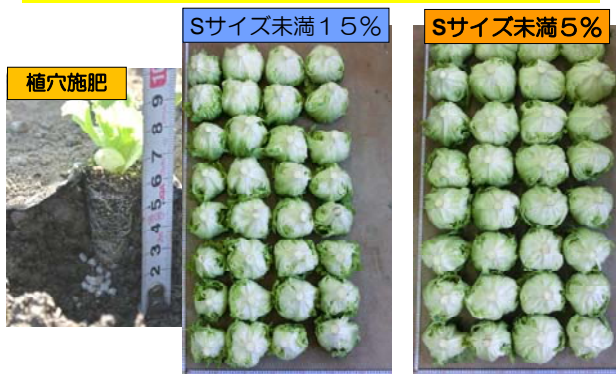
全自動移植機と組み合わせて
タマネギ苗正常植付率 94% 達成

2. タマネギ収穫機を試作



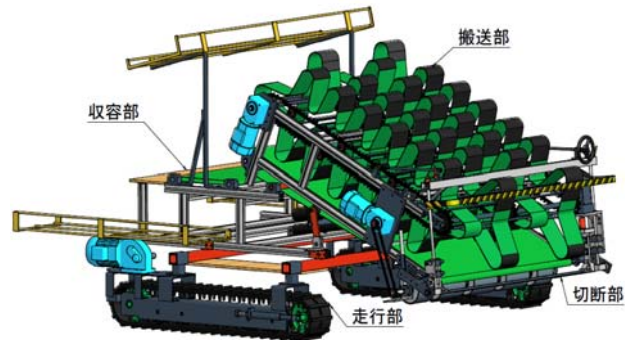
マルチフィルムを除去しながら掘取
能率手作業比 1.5 倍

3. レタス一斉収穫栽培技術を開発



移植時に植穴に粒状肥料を施肥
大玉率を高めて一斉収穫を可能

4. レタス収穫機を試作



4 条同時収穫可能
能率手作業比 5 倍（最大）

省力機械導入による大規模経営体試算結果

- ・上記の省力機械を導入した場合、タマネギでは栽培面積 7ha で売上 5000 万円のビジネス経営体が可能で、労力は同規模の慣行作業体系に比べ約 1 / 3 に縮減される。
- ・レタスでは一斉収穫栽培を導入するだけで、手作業収穫でも収穫労働時間が 5 割減少する。

(経営・生産システム科 TEL : 0538-36-1551 e-mail : agrikeiei@pref.shizuoka.lg.jp)